

取組状況のフォローアップ

令和3年 7月 5日

■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組

- ・危機管理型ハード対策
- ・防災ハンドブックの更新



(その他)

- ・他河川で実施しているタイムライン検討会の傍聴を幅広く案内
- ・出前講座により防災や網走川の環境などの広報活動を実施

■ 迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・洪水はん濫を未然に防ぐ対策
- ・重要水防箇所調書を配布



最新の重要水防箇所調書は網走開発建設部HPで公表しています。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr0000002r5m.html>

尚、市町村ごとに重要水防箇所図と重要水防箇所調書を別途、メールで配布します。



■ 迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・大空地区河川防災ステーションの整備



■ 効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・災害対策用機械の操作訓練を実施



■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- ・防災授業を実施、町主催の防災訓練に参加、避難所での感染症対策に関して情報提供。

○防災授業の実施(網走市潮見小学校)



○「避難所での感染症対策検証結果」の提供



■水防活動体制の強化

- ・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)を募集。



⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■ 避難勧告等情報伝達機器の整備

- ・ 水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置 【10箇所】
女満別川、田中川、黒瀬川、駒生川、タッコブ川、チミケップ川、ケミチャップ川、越歳川、浦士別川



■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- ・ 駒生川、女満別川、サラカオーマキン川で河道掘削を実施
- ・ 車止内川で伐木を実施
- ・ 女満別川で堤防整備を実施



駒生川



サラカオーマキン川



車止内川

河道掘削

伐木

⇒R3年度以降も引き続き、実施する

■ 避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- 大雨特別警報から警報等に切り替える際、河川氾濫の危険性が高い状態が継続する場合において、引き続き河川氾濫への注意・警戒を呼びかける防災気象情報の発表を開始しました。
- 非降水エコーに伴う異常値による大雨危険度分布通知を抑止する対応を開始しました。

網走川洪水予報(臨時)
令和〇年〇月〇日〇時〇分
網走開発建設部 網走地方気象台 共同発表

「網走・北見・紋別地方の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

網走・北見・紋別地方の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、[網走川]の洪水はこれからも警戒が必要です / 網走地方などに降った大雨による洪水が、これから網走川の下流に到達します。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 網走川 には、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
網走川	津別 (網走郡津別町)	氾濫発生中	浸水範囲の拡大に注意
網走川	美幌 (網走郡美幌町)	氾濫危険水位超過	水位上昇中
網走川	本郷 (網走郡大空町)	避難判断水位超過	水位上昇中

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

問い合わせ先
水位関係：国土交通省 網走開発建設部 治水課 tel:0152-44-6445
気象関係：気象庁 網走地方気象台 tel:0152-43-4348

美幌川洪水予報(臨時)
令和〇年〇月〇日〇時〇分
網走開発建設部 網走地方気象台 共同発表

「網走・北見・紋別地方の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

網走・北見・紋別地方の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、[美幌川]の洪水はこれからも警戒が必要です / 網走地方などに降った大雨による洪水が、これから美幌川の下流に到達します。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 美幌川 には、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
美幌川	美幌橋 (網走郡美幌町)	氾濫発生中	浸水範囲の拡大に注意

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

問い合わせ先
水位関係：国土交通省 網走開発建設部 治水課 tel:0152-44-6445
気象関係：気象庁 網走地方気象台 tel:0152-43-4348

河川氾濫への注意・警戒を呼びかける防災気象情報

■ 避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- ・他河川タイムライン検討会に参画しました。



⇒R3年度以降も引き続き、継続実施します

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 1日防災学校や防災授業の実施に協力(網走西小、網走五中、網走潮見小、美幌東陽小、美幌旭小)
- 防災に関する講和(津別町社会福祉協議会)



網走西小学校 1日防災学校



美幌東陽小学校 1日防災学校

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施します

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 「eラーニング形式の学習教材」を用いた関係機関との連携
 コロナ禍によるリモート指向を背景に、各自治体・関係機関等が「我が町感」を持ち積極的に利活用することを目的に本教材の補足・解説資料を、網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北海道警察北見方面本部、北海道網走南ヶ丘高等学校と協働で作成しました。



撮影風景



撮影風景

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施します

■ 迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の練度向上

1 各種訓練の場を活用した災害用ドローンの操縦訓練の実施



2 人命救助セット取り扱いの普及教育の実施



⇒R2年度以降も引き続き、継続実施

■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 北見方面本部

- ・ 水難救助訓練の実施



○ 北見方面本部、網走警察署、美幌警察署

- ・ 網走地方気象台と連携した教養セミナーの開催



北見方面本部



網走警察署



美幌警察署

○ 網走警察署、美幌警察署



ミニ広報紙や各種講話を通じて防災意識を啓発

(その他)

- ・ 自治体が主催する防災訓練に参加した。
(北見方面本部、網走警察署、美幌警察署)
- ・ 常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した。
(北見方面本部)
- ・ 大雨、河川の水位、天候の見通し等について、関係機関と情報共有を図った。
(北見方面本部、網走警察署、美幌警察署)

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

・避難情報等伝達機器貸与

緊急告知防災ラジオ貸与(高齢者、町内会長、区長、民生委員・児童委員、避難行動要支援者)

* 民生委員児童委員、町内会長協力による訪問貸与の実施



・感染症対策を考慮した避難所開設訓練

網走市町内会連合会、網走市コミュニティセンター等連絡協議会、北海道民生委員児童委員連盟網走市支部、網走市社会福祉協議会、網走市青年会議所、市による合同訓練



■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組

- ・地域防災研修会等による避難所開設訓練・避難者誘導検討



段ボールパレットの組立①



段ボールパレットの組立②



防災講和

- ・第一中学校、第二中学校、第三中学校の防災教育による避難行動・避難者受入訓練



防災教育



パーソナルテントの使用方法



段ボールパレットの組立



非常食の準備

⇒R2年度以降も引き続き、継続実施する

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・防災備蓄品を計画的に整備



■効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討並びに災害時協力協定に基づく発電機等のリースの検討



⇒R2年度以降も引き続き、継続調整する

■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組

・感染症対策を考慮した避難所開設訓練

職員による水害等を想定した避難所開設準備・避難所運営訓練の実施(感染症対策を考慮したもの)

・コロナ禍であることから、例年実施している住民対象の情報伝達・避難訓練ではなく、職員による感染症対策を考慮した避難所開設・運営の訓練を実施



開設準備(事前受付場所)



開設準備(段ボールベッド・段ボールパーテーション組み立て)



避難所運営(受付)



⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■ 迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・防災備蓄品を整備(感染症対策を考慮した避難所運営用防災備蓄品を整備)



↑段ボールベッド・段ボールパーテーション



↑マスク ↓消毒液

- 感染症対策を考慮した避難所運営用防災備蓄品を整備
段ボールベッド50台、段ボールパーテーション50台
使い捨てマスク、消毒液、ウェットタオル など



⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組(ソフト対策)

・水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

①住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、網走川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する

・職員による水害を想定した避難所開設訓練の実施
(感染症対策を考慮したもの)

・一日防災学校の実施



一日防災学校の実施

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施予定していた訓練が中止となったが、令和3年度については、感染症対策を徹底した上で、実施できるよう検討する。

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組(ハード対策)

・水防活動の資機材整備

① 資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備

- ・備蓄計画に基づき各避難所へ倉庫及び備蓄品を計画的に整備
- ・自主防災組織の防災資機材、格納用倉庫設置補助
- ・転入者へ防災グッズの配布



(その他)

- ・感染症対策として、避難所用のパーテーション、簡易トイレ、屋外用ボールライト等の資機材を導入。

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組

- ・避難情報等伝達機器の整備



IP無線機の導入

(その他)

- ・防災訓練(役場職員の情報伝達訓練)実施

■ 迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・計画的に災害用備品の充実を図った
(避難所用テント100張・ベット100台)



■ 効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・資機材整備の検討を行った
- ・ポンプ排水訓練に参加

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

- ・他河川タイムライン検討会を参考のために聴講した (WEB会議形式による参加)
- ・水防連絡協議会で情報共有を図った
- ・資料整理への協力と共有を図った

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・計画的に施設及び資機材を備蓄・配置した
(救命胴衣20着購入し各分団に追加配備した)



- ・引き続き募集活動を実施した



(その他)

- ・資料整理への協力と共有を図った
- ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施した
- ・設定協議に参加し、情報共有を図った
- ・重要水防箇所への巡視は中止となり、書面にて共有を図った
- ・所有資機材の点検を実施した

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・資機材整備の検討を行った
- ・所有資機材の点検を実施した

⇒R3年度以降も引き続き、継続実施する

■ 洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握
円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築

- ・網走地方道路防災連絡協議会配布の「網走地方道路防災情報図」及び美幌町配布の「防災ガイドブック」を活用した。

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■ 避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

訓練や実運用結果を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの改良や多機関が連携したタイムラインの作成
(要配慮者や観光客、災害状況に応じた対応を考慮)

- ・タイムラインの取組～未実施
- ・必要に応じ参画

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

洪水時の各機関の情報伝達状況や水防活動状況を共有できる体制の構築

- ・水防連絡協議会に出席し、連絡窓口等の情報共有を図る。(継続)

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、網走川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施した。

- ・自治会防災訓練(出前講座)～16自治会
- ・美幌町防災リーダー養成研修会を消防本部で開催
- ・一日防災学校(旭小学校)協力～消防車両展示

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■ 水防活動の資機材整備

資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備

- ・土のうの備蓄場所の変更に伴う土のうの移設作業を行った。
(津別消防署・津別消防団合同で実施)

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■水防活動に必要な情報の共有

①迅速な水防活動のため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資機材の状態点検を行う

- ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用し情報共有を図る。
- ・水防資器材の点検を定期的実施した。

②想定最大規模の洪水時でも利用可能な水防資機材搬送ルートの設定

- ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用する。

③毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する

- ・関係機関との共同点検に参加した、

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■水防活動体制の強化

①関係機関が連携し、河岸侵食や漏水を想定した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施

- ・北見河川事務所主催の水防技術講習会に出席した。

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

②リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行うとともに、水防協力団体の募集・指定を促進する

- ・組合HP掲載、構成町の広報誌掲載、ポスター掲示、リーフレットを配布し加入促進を図った。

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■排水活動の資機材整備

排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討

- ・必要に応じて整備を図る。

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。

■排水活動の体制強化

排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施

- ・所有資器材の取扱訓練を実施した。

→R3年度以降も引き続き、継続実施する。